

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	意識調査	講義時間	5コマ
講師	三輪 哲 東京大学社会科学研究所教授				

※1コマ70分

講義のねらい

本講義では「意識調査」（あるいは世論調査）について、その企画設計から調査方法、分析法にいたるまでの、一連の基礎知識の習得をねらいとする。受講生の皆が公務員であることを考慮し、学術的な意識調査ではなく、世論の正確な記述をめざした官庁による意識調査（内閣府の調査等がモデル）の実施のために必要な内容に重きをおく。

指導項目と内容

指導項目	内 容
(1) 意識調査とは何か ・ 統計調査と意識調査 ・ 意識調査の企画	統計調査と意識調査との共通点および相違点 意識調査の企画（目的・内容・対象・方法）
(2) 意識の測定と尺度水準 ・ 測定と尺度 ・ 妥当性と信頼性 ・ 尺度水準と選択肢	指標による概念の測定、スティーブンスの4尺度類型 測定の妥当性と信頼性の考え方 単項選択と多項選択、順序のあるカテゴリー、自由回答
(3) 質問文と調査票作成 ・ 注意すべき用語 ・ 誘導的な質問 ・ 質問形式の問題 ・ 調査票の構成	あいまいな用語、難解な用語、ステレオタイプ 威光暗示、黙従傾向 ダブルバーレル、一般的/個人的、普段/特定期間の行い ロート型と逆ロート型、質問の順序の効果、分岐型
(4) 調査設計とデータ分析 ・ 基本的な分析手法 ・ 調査設計と分析	度数分布表、クロス集計表、グラフ表現 縦断的比較（反復調査・パネル調査）、横断的比較
(5) 調査実施の過程と課題 ・ 調査設計とスケジュール ・ 報告書の刊行	企画段階で決めるべきこと、調査スケジュールの目安 報告書に含めるべき内容

講義形態 指導方法	パワーポイント資料を用いた講義形式による講義を基本として、例題を用いた演習を適宜織り交ぜる。
受講に必要な 基礎知識等	本講義受講のために予備知識を必要とはしないが、統計調査、標本調査、記述統計の講義を他で受講することを前提に、内容を精選している。